

あたらしいを、あたりまえに



News Release

2022年4月1日
JCOM 株式会社

2022年度 入社式社長挨拶

新入社員の皆さん、ご入社おめでとうございます。
J:COM を代表して、皆さんを心より歓迎します。

世界では戦争やコロナウイルスで非常に苦しんでいる国や人々があるなかで、当社では幸いにも本日こうして130名の仲間と入社式ができますことに感謝したいと思います。

今年は感染対策をしっかりと講じることで、3年ぶりに対面での入社式開催が実現出来ました。入社式後から始まる研修でも対面での実施を計画していますので、この機会に是非、2022年同期入社の方の絆を強めてもらいたいと思っています。

さて、当社に入社するにあたり、いくつか心に留めておいていただきたいこととお話します。

皆さんは就職活動の中で色々な選択をされて、最後は縁があって J:COM に入社することになったと思います。私はこの縁というものは、ある意味運命であると思っており、皆さんも当社で働くという選択をしたのですから、今は迷うことなく、目の前の研修と配属先での業務の習得に一生懸命に集中していただきたいと考えています。

これから一仕事人として社会人の生活をスタートすることになりますが、学業とは異なり、仕事は一人で完遂出来るものばかりではないので、当然うまく行かないことや嫌なこともあり、時にはお客さまからクレームを頂くこともあるでしょうし、ミスを起こして会社に損害を与えてしまうこともあるでしょう。

そんな時に迷いがあつたり、弱気になると、なかなか乗り越えられません。仕事上の大変なことを乗り越える一番強い力は、皆さん自身の「覚悟」です。自分は、仕事をして、成果を出して、お金をもらう、それで生きていくのだというプロフェッショナルな仕事人としての覚悟が必要です。

もちろん、我々上司や先輩方は、皆さんがそうした障壁を乗り越えられるようにさまざまなサポートをします。J:COM は、とても家族的な意識が強く、後輩や部下の育成に熱心な会社です。ただ、いくら周りがサポートしても、本人にその覚悟が無ければ乗り越えるのは難しいものです。

この覚悟は、当社の仕事に限ったことではなく、他の企業でもどんな業種でも、仕事するうえでは必要なことだと思います。これが、今日社会人としての生活をスタートする皆さんにまず伝えたいことです。

次に、皆さんにお渡しする給与はどこから頂いているのか、ということです。一義的にはもちろん会社が払っている訳ですが、元は当然ながらお客さまから頂いたものです。当社は、事業会社ですから、お客さまのお役に立てる、楽しんでいただける商品・サービスを作り出し、サポートも含めてご提供して、料金をお支払いいただき、事業を運営しています。

そのためには、お客さまからさまざまな面で支持をいただく必要があります。もっとお客さまに便利に使っていただける商品、サービス、お客さまに寄り添ったサポートを提供し、当社のブランドが評価されないといけません。更には、SDGs やカーボンニュートラルの取り組みのように自社だけでなく社会の発展にどう貢献するのか、という企業姿勢が評価されないと、お客さまからの支持は得られなくなっています。

そういった観点から、当社は昨年新しいブランドメッセージ「あたらしいを、あたりまえに」を打ち出しました。私自身とても良いメッセージだと思っています。「あたらしいこと」を「あたりまえに」することが理想ですが、まずは、あたりまえのサービスを、「お客さまにとって」あたりまえに提供することが重要です。でも、これはとても難しいことであり、企業としての覚悟が必要です。

また、これはパーパス型のメッセージでもあり、当社が社会にどう働きかけていきたいか、ということを示しています。つまり、「お客さまにとってのあたりまえのことをやりきる」という企業姿勢を示しているということです。J:COM には企業理念や行動指針があり、このメッセージも企業理念等に基づくものですが、まずはこのブランドメッセージの意味をしっかりと理解して欲しいと思います。

当社は、“国内最大のケーブルテレビ企業”そして“多チャンネル市場をリードするメディア・エンターテインメント企業”として、1995 年の創業から 27 年にわたり事業を成長させてきました。

しかしながら、我々の業界、すなわち放送・通信・コンテンツ業界では、インターネットや AI の進化に伴い、激しい環境変化が起こっており、当社も臨機応変に対応していく必要があります。

その際に、上記のようなお客さまに寄り添う視点をもってあたるのが最も大事だと考えています。

最後に、「覚悟」の延長線上にある「プロフェッショナル」について話します。「働き方改革」が国のリーダーシップのもと進められており、当社もワークライフバランス向上のために、有給取得の促進やリモートワークの導入等、さまざまな施策を講じていますが、「働き方改革」において、一番重要である「働く方の意識の改革」があまり議論されていません。

冒頭、「仕事人」という言葉を出しましたが、これからの社会では皆さん自身が独立した個人として、専門的な能力を高め、さまざまな業務を経験してキャリアプランを構築していく必要があります、そのために当社も昨年度新しい人事制度を導入しました。

会社が皆さんのキャリアを決めるのではなく、皆さん自身が自分のキャリアを考えて自己研鑽を積んでいく、このことは忘れないようにしてください。そして、上司は皆さんのキャリアプランを考える手伝いをしますし、会

社もさまざまなスキル等の研修の場を用意します。

皆さんに特に意識してほしいのは、皆さんの方から積極的に上司や先輩にアプローチしてほしいということです。そして早く成長し、一人前のプロフェッショナルになってほしいということです。

J:COM の行動指針である J:COM WAY の中にも、「J:COM プライド／一人ひとりの誇りと責任」という項目があります。これは、一人のプロフェッショナルとして誇りと責任を持ち、自己研鑽に励む、ということを示しています。また、会社の代表であることを自覚し、高い倫理観を持って行動するということです。

高い志と倫理観を持ち、自分のためだけでは無く“利他の心”で、まわりの人や社会の成長にも貢献できるようなプロフェッショナルを目指してください。そういう心持ちであれば、失敗を恐れず、仕事も人生も楽しむことができるのではないかと思います。

皆さんの活躍と成長を心より期待しています。

JCOM 株式会社

代表取締役社長 岩木 陽一

JCOM 株式会社について <www.jcom.co.jp/>

JCOM 株式会社(ブランド名 J:COM、本社:東京都千代田区)は、1995 年に設立された国内最大手のケーブルテレビ事業・番組供給事業統括運営会社です。ケーブルテレビ事業は、札幌、仙台、関東、関西、九州・山口エリアの 11 社 65 局を通じて約 559 万世帯のお客さまにケーブルテレビ、高速インターネット接続、電話、モバイル、電力、ホーム IoT 等のサービスを提供しています。ホームパス世帯(敷設工事が済み、いつでも加入いただける世帯)は約 2,200 万世帯です。番組供給事業においては、14 の専門チャンネルに出資及び運営を行い、ケーブルテレビ、衛星放送、IP マルチキャスト放送等への番組供給を中心としたコンテンツ事業を統括しています。※世帯数は 2021 年 12 月末現在の数字です